

出版物



世界に通じる危機対応

ISO22320:2011

(JIS Q22320:2013)

社会セキュリティ—緊急事態管理
—危機対応に関する要求事項 解説

林 春男 編集委員長

危機対応標準化研究会 編著

(日本規格協会 / 2014年5月発行)

効果的な危機対応の実現に向けて、指揮・統制のあり方、危機対応に用いる活動情報処理のあり方、部局間・組織間の協力及び連携のあり方について最低限考慮すべき事柄をまとめた国際規格ISO22320。今後予想される大規模な危機的事態を前に、本規格の有効性と危機対応における標準化の重要性を実際の事例等も交えながら解説。

会員募集中

当協会では会員を募集しております。当協会はレジリエンスに関する情報収集、意見交換の場として各業種、団体等の方々にお気軽に参加いただいている会です。レジリエンスにご興味をお持ちの方は、ぜひ一度定例会に参加いただき、会の活動状況等を実際にご確認いただければと思っています。

会費等

個人会員の年会費は10,000円です。年5~6回程度開催予定の定例会・訓練会等の参加費(1回3,000円×6回)が無料となる他、各研究会(チーム)にも自由に参加することができます。

法人会員(100,000円)もあります。

入会申し込み方法につきましては下記リンク先のページをご参照ください。

<https://resiliencej.wordpress.com/aboutus/application/>

一般社団法人 レジリエンス協会

レジリエンス協会

本部 〒105-0003 東京都港区西新橋2-11-5 TKK西新橋ビル7F

お問合せ、コンタクトはEメールにてお願いいたします。 info@resilience-japan.org

一般社団法人

レジリエンス協会



RRCJ

The Resilience Research Council of Japan

本協会の目的

本協会は、安心安全で持続可能な社会の実現に向け、産官学と協働してレジリエンスの評価手法を確立することを目的とします。

- ・ 現地調査、事例研究、国際協力、シミュレーションモデルの構築
- ・ 地域社会と組織のレジリエンスの状況を総合的かつ客観的に評価する手法の開発
- ・ レジリエンス評価を行う上で現れる実務的な諸問題の確認と解決に向けて、ISO(国際標準化機構)を含む国内外の組織に提言と支援と普及啓発

本協会が目指す成果

あるべきレジリエンスの方向性と評価計測手法を合理的に提示し、社会、企業及び組織のレジリエンス向上に寄与することを目指します。

会長挨拶

「レジリエンス」という言葉は大変便利な言葉

国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長
レジリエンス協会 会長

林 春男



防災の世界では、日本語で「防災力」にあたる言葉がありませんでした。これを“Vulnerability Reduction”と捉えてきました。そのための道具が“Mitigation”であり、“Preparedness”でした。

2005年に神戸で開催された世界防災会議では、世界から災害を減らすために兵庫行動枠組みが採択されました。それ以来“Resilience”という言葉が「防災力」という意味で市民権を得て、あちこちで積極的に使われるようになりました。

防災の世界ではレジリエンスは抽象的概念ですが、あるところで「レジリエンス」は具体的でイメージしやすいといわれました。くしゃくしゃになっても元の形状に復元する「形状記憶」の合金や衣料がありますが、あの「形状記憶」の性質がレジリエンスだと教えてもらいました。心理学や保健学の方たちもレジリエンスという言葉が大切なキーワードとしていることもわかりました。

こうしたレジリエンスという言葉が持つ含意の幅広さは、組織の事業継続能力の向上を目指す「レジリエンス協会」の活動を多くの方々に分かりやすくする上で重要な働きをしてくれると感じています。

これからも研さんを積み「レジリエンス」という言葉を使う達人になることを協会を目指したいと思います。



津波災害：東日本大震災



地震災害：熊本地震

本協会の活動

詳しくはレジリエンス協会HPをご覧ください。

<http://www.resilience-japan.org/>

★ 定例会

年間5回の開催を行っております。いろいろな角度からのレジリエンス関連のテーマにつき様々な分野の方の講演を聞くことができ、皆様の知識・情報収集に役立てています。毎回4～6の講演テーマで実施しています。

★ レジリエンス・ビュー

レジリエンス関連の情報紙です。年4回の発行を行っています。

★ メール・マガジン

出席されなかった皆様にも定例会の内容を毎回お知らせするものです。当日使用した資料等のHPへの掲載情報も含んでいます。

★ 研究会

現在、以下の研究会が活動しております。

ヒューマン
レジリエンス研究会

社会セキュリティ
研究会

演習研究会

組織レジリエンス
研究会

BCMS研究会

★ その他

- ・ ISO普及活動(説明会開催)
- ・ 「シナリオ非提示型 災害対策本部訓練」開催(地震、台風・・・)
- ・ 国土強靱化計画にもとづく「レジリエンス認証制度」スタートに伴う、告知、普及、支援活動(制度説明会開催、認証審査支援)
- ・ 地域防災、BCP関連講演会、説明会の開催
- ・ その他、海外文献翻訳、災害地視察ツアー開催等も行っています。